

インフォメーション

# 「Z-BFM」「Z-GIS」の操作研修会を開催 ～現場で役立つシステムの普及拡大に向けて～

全農は、効率的な圃場管理を実現する営農管理システム「Z-GIS」および農家の所得が最大となる営農計画案を作成できる営農計画策定支援システム「Z-BFM」の普及拡大を目的に、両システムの操作研修会を東西2カ所で2回にわたって開催しました。JA職員・県本部職員の計57名〔東日本会場（つくば市）：27名、西日本会場（大阪市）：30名〕が受講しました。

## 「Z-GIS」操作研修会：基本的な操作方法を確認

近年、農家の高齢化や労働力不足により、地域の担い手に農地が集積しています。ひとつの経営体が管理する農地は増加する一方で、今まで実施していた、白地図を利用した手作業での農地管理では到底追いつかない大面積であっても、「Z-GIS」を利用すれば、効率的な圃場管理が可能となります。

研修会では「Z-GIS」のダウンロードからポリゴン（地図上に圃場の形を表すためのデータ）の作成、その活用方法まで、受講者は基本的な操作方法を確認しました。また、月額200円からサービスを利用できることや、Excelと地図情報を結びつけるシステムであるため、入力項目

を利用者オリジナルで設定できることなど「Z-GIS」の特長を把握し、実際にJA・担い手へ推進することを前提とした研修となりました。

## 「Z-BFM」操作研修会：農家手取り最大化に向けて

「Z-BFM」の研修会では、前半に「Z-BFM」の概要を学び、後半は操作研修を実施しました。「Z-BFM」は、雇人数や作付面積などの経営概況や労働条件を入力し、作付品目を経営指標から選択して、農業所得が最大となる営農計画案を作成するシステムです。「Z-BFM」を活用し、農家手取り最大化に向けて成果を上げた事例が増えています。



▲パソコンの前に、実際に操作方法を学ぶ受講生たち

耕種総合対策部スマート農業推進室の平野室長は「全国で『Z-BFM』を使用した経営改善提案が行われています。皆さまにも、ぜひ優良事例となるような取り組みをしていただきたい」と述べました。「Z-BFM」で作成した経営計画が現場で活かされるということを再確認したうえで、受講者は操作研修に臨みました。



「Z-GIS」と「Z-BFM」は、圃場管理・経営管理をするうえで、時間・労働力を効率化できる現場で役立つシステムです。全農は、「Z-GIS」を核としたICT技術の活用に取り組んでいきます。【全農 耕種総合対策部 アグリ情報室】



▲「Z-GIS」を核としたデータ連携

巻頭連載／社会実装が進む最新農業技術 第5回 高性能・高耐久コンバインの開発…………… 2	栽培技術セミナー／コシヒカリ高温登熟下における品質向上のための水管理…………… 14
視点／農家手取り最大化に向けたJAグループの取り組み：JA全農みえ 農業者との関係強化へ…………… 4	施肥技術セミナー／飼料用米の鉄コーティング湛水直播栽培における 全量基肥施肥技術…………… 16
「三重県農業振興・農業生産コスト低減研究会」を開催…………… 4	防除技術セミナー／イネウンカ類の殺虫剤抵抗性問題の現状と防除対策の展望…………… 18
野菜の栽培技術講座 第5回 にんじんの夏まき秋冬どり栽培…………… 6	インフォメーション／ラウンドアップマックスロード専用 5L少量散布技術「ラウンドノズルULV5」…………… 20
こちら全国営農拠点／ゆめファーム全農とちぎ 「ゆめファーム全農とちぎ」における自動薬散機の検証…………… 9	インフォメーション／「お米は太る」イメージを払拭！ 「おにぎりダイエット+ワーク」…………… 21
JAと連携した農業普及活動 第5回 小さな組織を強くするマーケティング活動 直販所で輝く女性たち…………… 10	インフォメーション／施設園芸の収益改善に向けた 「ゆめファーム全農プロジェクト」の取り組み…………… 22
栽培技術セミナー／「エンレイ」に難裂英性を導入した 大豆新品種「えんれいのそら」…………… 12	がんばる担い手／沖縄県名護市 ㈱又吉農園 又吉康裕さん 荒地地を若者たちと開拓し、地域の観光にも貢献…………… 23
	インフォメーション／「Z-BFM」「Z-GIS」の操作研修会を開催…………… 24